

大会注意事項(学童)

- 1 監督1名、コーチ2名以内、選手は10名以上25名以内。ただし、監督、コーチは成人者(20歳以上)でなければならない。
- 2 大会でベンチに入れる人員は、登録されユニホームを着用した監督、コーチ、選手及びユニホームを着用しないチーム代表者(引率責任者)、マネージャー、スコアラー、トレーナー(有資格者)の各1名とする。
熱中症対策として、保護者(女性)2名以内をベンチに入れることができる。
- 3 チームの監督は公認学童コーチ資格保有者であること。ただし、監督が資格を保有していない場合においては、同一チーム内の代表者またはコーチでベンチ入りすることになる者のうち最低1名が保有していること。
但し、2024年度のみベンチ入りする、マネージャー、スコアラー、トレーナーでも可とする。
注)有資格者が不在の場合、試合を行う事は出来ない。
- 4 ベンチは組合せ番号の若い方を一塁側とする。
- 5 打順表の提出は、当該試合の開始予定時刻の30分前(トス前)までに、監督が本部に提出し照合を受ける事。
- 6 攻守決定(トス)は当該試合の30分前に球審または役員立会いのもと、両チームの主将により決定する。
※攻守決定(トス)時の参加者、監督、主将、公認学童コーチ(登録証持参)
- 7 ベンチ内での電子機器(携帯電話・パソコン等)及び携帯マイクの使用を禁止する。
メガホン1個に限り使用を認める。
- 8 試合は6回戦とし、1時間30分を過ぎて新しいイニングに入らないこととする。ただし、決勝は1時間40分とする。
正式試合の成立は4回完了時とするが、4回以前でも規定時間に達したならば、試合は成立する。
6回を完了時又は制限時間を過ぎて同点の場合は、延長戦は行わず、タイブレーク方式を行う。無死1・2塁、継続打順で最大2イニングまで行い、勝敗が決しない場合は抽選によって勝敗を決する。
ただし、決勝戦にかぎり抽選を行わず勝敗が決するまでタイブレークを続ける。
得点差によるコールドゲームはすべての試合において3回終了時15点差、4回10点差、5回以降7点差とする。
- 9 抗議のできるものは、監督か当該プレーヤーとする。
監督に限り、グラウンドに出て指示をすることができる。なお、小走りでスピーディーに行くこと。
- 10 **タイム制限**
監督が、1試合に投手のところに行ける回数は3回とする。なお、特別延長戦は1イニングに1回行くことができる。攻撃側のタイムは1試合に3回以内とする。なお、特別延長戦となった場合は、1イニングに1回とする。
捕手を含む内野手が1試合に投手のところへ行ける回数を3回以内とする。なお、特別延長戦となった場合は1イニングに1回行くことができる。
- 11 監督不在でも試合は認めるが、代理の場合は、登録されたコーチが「代理」と必ず打順表に明記すること。
- 12 DH制の導入は行わない。
- 13 投球数70球以内の投手が他の守備位置についてた場合、再登板を認める。
- 14 金属・ハイコン(複合)・FEP製バットはJ.S.B.Bのマークをつけた全軟連公認ものに限る。
注)2025年度より一般用FEP製バットを使用する事を禁止とする。
- 15 1. 投手のサングラス使用を認める。ただし、ミラーレンズは除く。
2. 野手がサングラスを底の上に乗せることを認める。
3. 後付けフレアグリップ使用については、専用テープ等で完全に固定・被覆されたなだらかな形状のものであれば使用を認める。
- 16 スパイクの色は自由とし、全員同色でなくても構わない。なお、運動靴でもよいこととする。
- 17 打者、次打者、走者は両側にイヤーフラップのついたSGマークの入った連盟公認のヘルメットを着用すること。なお、ベースコーチも着用すること。
フェイスガード(顎ガード)付のヘルメットの使田も可能 但し 後付けガードの物け使田出来ない
- 18 監督、コーチ、選手は全員同色、同形、同意匠のユニホーム、帽子、同色のアンダーシャツ、同形同色のストッキングでなければならない。
但し、合同チームの場合はこの限りではない。
また、アームスリーブの使用は可能。
但し、投手のみアンダーシャツと同色で両袖とする。
- 19 ピッチクロックを準決勝、決勝のみ適用する。
尚、内容に関しては規則書、競技者必携に準ずる。
また、合わせて準決勝、決勝時には用具確認(チェック)も行う。
- 20 打者は速やかにバッタースボックスに入ること。なお、サインはバッタースボックス内で見ること。
また、次打者は必ず次打者席に入ること。投手も必ず実行すること。
- 21 守備の時間が長い場合(概ね20分)には健康維持を考慮し、審判の判断で給水タイムを設けることとする。
(試合時間に入れない)
- 22 **滝ヶ原グラウンドルール**
 1. 滝ヶ原グラウンドでのアップ(準備運動)はランニング・キャッチボール・トス・サイドノックのみとする(コーン内アップ場でのノックは禁ずる)。
但し、第一試合のチームのみ、試合開始30分前迄は上記以外も可とする(周囲に注意する事)。
 2. グラウンド内外での素振りは禁止とする。
 3. ブルペン^①は各面とも、ベンチ裏若しくはグラウンドファールテリトリー(試合に支障のない場所)の1箇所とする。
ブルペンでのキャッチボールはベンチ入りの選手また監督・コーチのみとする。
但し、遠投は不可
- 23 詳細の運営規則・競技規則は、当連盟発行の「競技運営に関する規則」「大会特別規則」「審判長注意事項」による。
- 24 上記大会注意事項は、八少連主催試合に適用する。